

# 仙台の伝統的な門松を再現展示しています

かつて、仙台やその周辺で飾られていた門松は、現在一般的に見られるものとは違い、松や竹などを門のよう組み上げた形をしていました。しかし、仙台の中心部では明治40年代にはほとんど姿を消し、郊外でも昭和40年代には飾る家も少なくなり、今ではほとんど見ることができなくなっています。

仙台市博物館では、仙台の門松に関する調査を継続して行っており、関連する古文書や絵画資料などから、江戸時代に仙台城で飾られていた門松の大きさや数のほか、根白石村(泉区根白石)から材料が献上されていたこと、仙台城下やその周辺の村々でも同じような形の門松が飾られていたことなどがわかつてきました。

仙台城内に飾られた門松は、直径約15cm、長さ3m以上の栗の木の柱に竹や松をくりつけ、根元に檜(なら)の板3枚を添えるというもので、その高さは3mから4mに及んだと推定されます。

仙台市内の歴史・文化系ミュージアム9施設がつながり活動する仙台歴史ミュージアムネットワーク(歴ネット)では、仙台市博物館の調査成果に加え、泉区根白石で昔ながらの門松を受け継いでいる旧家の方の協力を得て、仙台の伝統的な門松を再現し、歴ネット参加施設の内、8施設で展示しています。

東日本大震災の翌年度から始まったこの展示は、今年度で14回目を迎えます。

多くの市民の皆様にこの門松をご覧いただき、仙台の伝統や地域性の一端を感じていただければ幸いです。



▲史跡陸奥国分寺・尼寺跡ガイダンス施設



▲仙台市戦災復興記念館



▲仙台市縄文の森広場



▲仙台市歴史民俗資料館



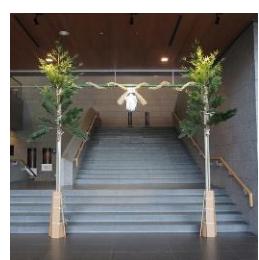
▲仙台文学館



▲地底の森ミュージアム



▲瑞鳳殿



▲仙台市博物館

## ■各施設の展示期間(予定)

施設名	展示期間	問い合わせ先
仙台市歴史民俗資料館	令和7年12月6日(土)～令和8年2月1日(日)	022-295-3956
地底の森ミュージアム	令和7年12月16日(火)～令和8年1月21日(水)	022-246-9153
仙台市縄文の森広場	令和7年12月16日(火)～令和8年1月21日(水)	022-307-5665
仙台市博物館	令和7年12月16日(火)～令和8年2月1日(日)	022-225-3074
史跡陸奥国分寺・尼寺跡ガイダンス施設	令和7年12月17日(水)～令和8年1月14日(水)	(教育局文化財課) 022-214-8893
仙台文学館	令和7年12月19日(金)～令和8年2月11日(水・祝)	022-271-3020
瑞鳳殿	令和7年12月20日(土)～令和8年1月14日(水)	022-262-6250
仙台市戦災復興記念館	令和7年12月27日(土)～令和8年1月12日(月・祝)	022-263-6931

※瑞鳳殿・仙台市歴史民俗資料館の展示場所は有料ゾーンとなりますので、見学には入館料が必要です。

※仙台市歴史民俗資料館・仙台市戦災復興記念館・仙台市博物館で展示するのは、樹脂製のレプリカです。

※掲載した写真は令和6年度までのものです。

※歴ネットによる展示ではありませんが、仙台市役所本庁舎東側玄関でも12月27日(土)～1月12日(月・祝)に仙台の伝統的な門松を見ることができます。